



[発行所] 株式会社アメニティ  
〒221-0863 横浜市神奈川区羽沢町685  
TEL:045-371-7676(代) FAX:045-371-7717  
Copyright © 2011 AMENITY INC. All rights reserved.  
本紙からの無断転載を固く禁じます。

トイレを楽しくする新聞

# かわや版

KAWAYABAN

2011初夏号  
Vol.31

## 東日本大震災のお見舞いを申し上げます

2011年3月11日に発生した東日本大震災により、この震災で犠牲になられた方々のご冥福をお祈りし、最愛の方を失われた被災者の皆さま、ご家族の皆さまへ深い哀悼の意を捧げます。また、甚大な被害に遭われました皆さんに心よりお見舞いを申し上げます。

アメニティネットワーク 一同

### 特集

## 御手洗銀三の 北関東・東北レポート



▲支援物資を乗せて

アメニティネットワークにも、震災のあった北関東、東北エリアに加盟店があります。地震発生から約3週間後、被災地状況の確認と支援物資を持って、御手洗銀三こと、(株)アメニティの代表である山戸里志が社員の松浦信明を引き連れて、3月31日からの5日間、北関東、東北を訪ねてまいりました。



▲小名浜近くの被災地にて



▲御手洗銀三こと山戸里志(中央)としっかりと握手を交わす  
アメニティカンセイ代表取締役 根本宏。左は会長の根本茂

車に支援物資を積み込み、一路、北関東・東北へ出発。

今回、支援物資として、『EAIFIX除菌・抗ウィルススプレー(オレンジオイル配合)※』や水などを積載。

初日に訪れたのは、アメニティ茨城(茨城県小美玉市)とアメニティ北関東(栃木県芳賀郡市)。両社とも、事務所も自宅にも大きな損傷はなく、オーナー含め社員も皆、無事に再会を果たす。お客様の中には、地震により被害が出たものの、トイレにおいては既にトイレ診断を実施したとの朗報を聞くことができた。

2日目、アメニティカンセイ(福島県いわき市)を訪問。前夜は、いわき市内のホテルに宿泊。このホテルも2日前に営業再開したばかりだという。町では、やはり営業再開したばかりの飲食店を見つけることができた。県外に避難していた従業員たちも、ほとんど戻ってきたという。

今回の地震、津波だけでなく、原発の事故とそれによる風評で福島市民は落ち着かない日々を過ごしていることがよくわかる。

裏面へ続く→



▲避難所に支援物資を届けるallアメニティ(栃木県下野市)田村友輝(左)

### ※被災地支援物資 「EAIFIX除菌・抗ウィルススプレー(オレンジオイル配合)」

震災発生から、各地で復興に向けて動き出しているところですが、未だ、多くの被災者が避難所生活を余儀なくされており、特に衛生面での問題が課題となっています。その中で、アメニティネットワークでは、衛生管理の対策に有効なアメニティ製品『EAIFIX除菌・抗ウィルススプレー』を各地の避難所などに支援物資としてお届けする活動をしています。

【活動へのお問合せ先:(株)アメニティ 伊藤恭子まで ☎045-371-7676】

対象物にスプレーすると、インフルエンザやノロウイルス、胃腸炎など感染症の原因となる各種ウイルス・各種菌に効果を發揮します。また、オレンジオイルを配合しているので、付着した放射性物質を除去したり減らしやすくする効果があります。

#### ★各種ウイルス・各種菌への効果

アメリカの評価基準『AOAC 基準』で合格しています。

#### ★安全性

厚生労働省で食品及び食品添加物と認められた成分で構成されているので安全です。

#### ★オレンジオイル成分

油分などの汚れと一緒に放射性物質を落とす働きがあります。



# 加盟店 復興へ向かう熱い決意

アメニティカンセイのオーナーとは震災以降、メールや電話で何度も連絡を取っており、一時は開店休業状態と聞き心配していたが、今は平常勤務に戻っているとのことで安堵。ただ、業務は平常となったものの、まだ燃料供給も完全ではなく、また、上下水道などの生活インフラの復旧が急務な状態という。社員の中には、一時期、避難所に避難していたが、今は自宅に戻り、社員皆さんの無事を何よりに思う。

いわき市内から海の方に向かってみた。海に近づくにつれ、平和で何事もなかったような街並みが激変する。テレビなどで報じられた映像を目の当たりにし、言葉を失う。

福島のもう一つの加盟店、アメニティ花森(福島県郡山市)。今回の原発の問題が心配される土地ではあるが、オーナーからは「災害に直接飲み込まれた

被災者を激励し、見守ることができるのは私たち元気な者の仕事です」と!

次に訪れたのは、アメニティ仙台(宮城県仙台市)。既に市内のガレキは片付けられていたが、ガスと水道が復活しておらず、未だ多くの市民が不便を強いられているとのこと。この仙台のオーナーとは、震災1週間後にやっと電話がつながり、「仙台は復興に向けて活発に動き出した!がんばってます」と。今回の再会でも復興に向けての力強い言葉を聞いた。

アメニティ八戸(青森県八戸市)も、無事にオーナーと再会。近くには避難所があり、今は、毎日その支援に行かれており、トイレ診断士としても活躍している。

八戸から南下し、アメニティ岩手(岩手県花巻市)へ。内陸であるため、事務所の被害も軽微であったが、今回被害の大き



▲陸前高田にて TVで映し出されていた風景を前にただ唖然

## トイレ診断士として総力をかけ支援を!



▲八戸にて 道路には巨大な舟が横たわっていた。車はその横を走っていく

かった大船渡、気仙沼のお客様も多い。何とか津波の被害からは逃れたものの、休業状態の店も…。今回、そうしたお客様先にも、支援物資を持ってお見舞いに伺った。

最後は、アメニティ東北(山形県米沢市)。特に大きな被害はなく、訪問してきた加盟店の方々の様子を知らせながら、復興に向けての決意を確認することができた。

今回、アメニティ加盟店の無

事を確認することができ、復興に向けての熱い思いを聞くことができた。しかし、お客様の中には震災によって被害にあわれ、また、原発問題やインフラの復旧が遅延していることなど、甚大な被害も多く見受けられる。今、我々にできることは、トイレ診断士として精一杯の支援をしていくことだ。

(株式会社 アメニティ  
代表取締役 山戸里志)

### 編集後記

避難所のトイレの手配は、自衛隊やその分野に詳しいボランティアの支援が入るまで、避難所に集まつた方たちで対応しなくてはなりません。しかし、災害時のトイレのことを普段から考えている方はほとんどないので、どのように対応してよいか分からぬのが現状です。そのため、避難所のトイレはプライバシーや衛生面などに問題があると頻繁に報道されています。今回お休みましたが、かわや版で連載中のコラム『学校トイレ事情』の執筆者で、学校トイレ.comを運営する村上八千世さんは、同サイトで『災害時トイレ対応』マニュアルを公開しています。被災直後の応急トイレから、屋内既存トイレのチェック方法、トイレの衛生管理方法など、とても分かり易くまとまっています。被災に備え、ダウンロードをお勧めします。(雉撃弾治)

学校トイレ.com <http://www.gakkoutoilet.com/>

学校トイレ.comは、学校トイレのメンテナンス、小規模改修に関する情報サイトです。

### あなたの町のアメニティネットワーク

コンセイ トイレ  
アメニティ本部フリーダイヤル 0120-57-1110

本誌は森林保護のため、再生紙・ペジタルオイルインクを使用しています。  
 VEGETABLE OIL INK